

參考資料

計画策定の経過

年	実施月日	取組項目	主な内容、結果など
平成17年	5月24日	計画策定検討会議（第1回）	・地域福祉計画の性格や位置づけ等の説明 ・大阪府下の計画策定状況の説明 ・計画策定の進め方等の検討
	8月8日	計画策定検討会議（第2回）	・「富田林市地域福祉計画策定事業」の進め方等の検討 ・計画委員会の委員構成等の検討
	9月27日	計画策定検討会議（第3回）	・計画委員会委員及びサポート会議委員の推薦依頼 ・計画策定までの行程(案)の検討
	12月20日	計画策定検討会議（第4回）	・市民意識調査の調査票(案)、進め方等の検討
平成18年	1月17日	サポート会議（第1回）	・地域福祉と地域福祉計画についての概要説明 ・市民意識調査の調査票(案)、進め方等の検討
	1月19日	計画委員会（第1回）	・地域福祉と地域福祉計画についての概要説明 ・市民意識調査の調査票(案)、進め方等の検討
	2月10日～3月3日	市民意識調査の実施	・調査対象：20歳以上の市民2,000人 ・回収結果：有効回収931票
	3月24日	計画策定検討会議（第5回）	・市民意識調査の単純集計結果の報告 ・関係団体アンケート調査の調査票(案)、進め方等の検討
	3月27日	サポート会議（第2回）	・市民意識調査の単純集計結果の報告 ・関係団体アンケート調査の調査票(案)、進め方等の検討 ・部会別：生活課題、地域が抱える課題等の検討
	3月30日	計画委員会（第2回）	・市民意識調査の単純集計結果の報告 ・関係団体アンケート調査の調査票(案)、進め方等の検討 ・生活課題、地域が抱える課題等の検討
	5月10日～6月30日	関係団体アンケート調査の実施	・調査対象：地域福祉活動を実施している団体（157団体） ・回収結果：有効回収111票
	7月12日	サポート会議（第3回）	・市民意識調査のクロス集計結果の報告 ・部会別：生活課題等の検討 / 課題解決に向けた対策等の検討
	7月20日	計画委員会（第3回）	・市民意識調査のクロス集計結果の報告 ・「富田林市地域福祉活動計画」の概要説明（担当：社協） ・生活課題、地域が抱える課題等の検討 ・計画における特色ある枠組みづくりの検討
	8月3日	計画委員会（第4回）	・計画における特色ある枠組みづくりの検討
	8月30日	サポート会議（第4回）	・部会別：生活課題等の検討 / 課題解決に向けた対策等の検討
	10月6日	サポート会議（第5回）	・「サポート会議・部会別検討結果」の検討
	10月19日	計画委員会（第5回）	・サポート会議の部会別検討結果の報告 ・計画における「基本理念と施策体系」の検討
	11月9日	計画策定検討会議（第6回）	・計画における「基本理念と施策体系」の検討
	11月28日	計画委員会（第6回）	・高齢・児童・障害関係以外の団体からの意見聴取 ・計画素案（基本理念と施策体系）の検討
	12月22日	計画策定検討会議（第7回）	・計画素案（全編）の検討
平成19年	1月11日	計画委員会（第7回）	・計画素案（全編）の検討
	2月2日	計画策定検討会議（第8回）	・計画素案（全編）の検討
	3月9日～3月19日	計画素案に対するパブリックコメントの実施	・計画素案（全編）に対する市民等からの意見聴取
	3月29日	計画策定検討会議（第8回）	・計画最終案の検討

（注） : 地域福祉計画委員会、 : 地域福祉サポート会議、 : 計画策定検討会議、 : その他の取り組み

富田林市地域福祉計画委員会設置要綱

(設置)

第1条 富田林市地域福祉計画（以下「計画」という。）を策定するにあたり、社会福祉法（昭和26年法律第45号）第107条の規定に基づき、計画の案に対する意見を求めるため、富田林市地域福祉計画委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員25人以内で組織する。

2 委員は、学識経験者、医療関係者、福祉関係者及び市民のうちから市長が委嘱する。

(委員長及び副委員長)

第3条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開く事ができない。

3 委員会の議事は出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第5条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、保健福祉部社会援護課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附則

(施行期日)

1 この要綱は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 最初に行われる委員会の招集は、第4条第1項の規定にかかわらず、市長が行う。

富田林市地域福祉計画委員会委員名簿

(各分野内、五十音順)

分野	氏名(敬称略)	所属
学識経験者	小野 達也	大阪府立大学人間社会学部
医療関係者	堀野 俊男	社団法人富田林医師会
福祉関係者	浅野 豊	社会福祉法人富田林市社会福祉協議会
	阿部 博	民生委員・児童委員協議会
	井口 靖彦	福祉委員会代表
	大塚 知恵子(平成18年度) 〔福田 弘子(平成17年度)〕	コミュニティソーシャルワーカー
	近藤 美鈴(平成18年度) 〔中 由美(平成17年度)〕	富田林保健所
	遠坂 貴史	コミュニティソーシャルワーカー
	三木 敏恵	ボランティアグループ(金剛グループ)
住民代表	清井 浩	NPO法人高齢者大学シニア富田林
	福原 美知子	母子福祉会
	船内 宏作	身体障害者福祉協会
	三嶋 定雄	町総代会
	森本 由美子	P T A連絡協議会母親部会
	吉原 肇	老人クラブ連合会

(注) : 委員長、 : 副委員長

地域福祉サポート会議設置要綱

（設置）

第1条 社会福祉法（昭和26年法律第45号）第107条の規定に基づき、富田林市地域福祉計画を策定するにあたり市民その他の社会福祉に関する活動を行っている者の意見を反映させるため、地域福祉サポート会議（以下「サポート会議」という。）を設置する。

（組織）

第2条 サポート会議は、委員21人以内で組織する。

- 2 委員の任期は、富田林市地域福祉計画の策定が終了するまでの間とする。
- 3 サポート会議に会長を置き、委員の互選により定める。
- 4 サポート会議に部会を置くことができる。

（会議）

第3条 サポート会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

- 2 サポート会議は、日頃地域で行われている福祉活動について語り合い、市は、会議の中で明らかになった地域福祉についての課題点などを富田林市地域福祉計画策定に反映させるものとする。

（庶務）

第4条 サポート会議の庶務は、保健福祉部社会援護課において処理する。

（委任）

第5条 この要綱に定めるもののほか、サポート会議の運営について必要な事項は、会長が定める。

附則

（施行期日）

- 1 この要綱は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 最初に行われるサポート会議の招集は第3条第1項の規定にかかわらず、保健福祉部長が行う。

地域福祉サポート会議委員名簿

(各部会内、五十音順)

部 会	氏 名 (敬称略)	所 属
高齢部会	浅海 克明	ボランティアグループ(老人給食)
	久保 義和	NPO法人ナルク富田林
	中西 真澄	老人クラブ連合会
	東 克明	富田林市社会福祉協議会
	平田 常二	地区福祉委員会
	三嶋 守	民生委員・児童委員協議会
児童部会	久米村 幹子	ボランティアグループ(ファミサポ援助会員)
	巽 真里子	NPO法人ふらっとスペース金剛
	中尾 いつ子	民生委員・児童委員協議会
	新里 恵美	地区福祉委員会
	野村 美和	P T A連絡協議会母親部会
	宮崎 ひさ子	母子福祉会
障害部会	石田 千佳子	ボランティアグループ(手話サークル虹)
	都留 秀行	精神障害者家族連絡会(ときわぎ会)
	播戸 喜明	地区福祉委員会
	扶川 始	身体障害者福祉協会
	宮崎 幸美	手をつなぐ父母の会
	桃原 順子	NPO ZOOとぴあ
	山本 俊雄	民生委員・児童委員協議会

(注) : 会長、 : 部会リーダー

地域福祉計画策定検討会議設置要領

(目的)

第1条 この要領は、地域福祉計画策定検討会議（以下「検討会議」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定める。

(事務)

第2条 検討会議は、富田林市地域福祉計画（以下「計画」という。）の策定に際し、情報収集と研究を行うとともに、協議検討し、調整を行うものとする。

(組織)

第3条 検討会議は、別表第1に掲げる職を有する者をもって組織する。

(会議)

第4条 検討会議は、保健福祉部長が必要に応じて召集する。

(庶務)

第5条 検討会議の庶務は保健福祉部社会援護課が行う。

附則

この要領は、平成17年5月24日から施行する。

別表1

地域福祉計画策定検討会議構成員

部 名	課 名	職 名
保健福祉部		保健福祉部長
	福祉事務所	所長
	保険年金課	課長
	高齢介護課	課長
	障害福祉課	課長
	保育課	課長
	子育て支援課	課長
	健康づくり推進課	課長
人権文化部	ふれあい交流課	課長
まちづくり政策部	まちづくり推進課	課長
教育総務部	教育指導室	室長
生涯学習部	社会教育課	課長
市長公室	政策推進室	室長
社会福祉協議会	事務局	次長

アンケート調査票

共に生き、共に支え合う福祉のまちをめざして

- 市民意識調査へのご協力のお願い -

市民の皆さまには、日頃より市政に対してご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、富田林市では現在、共に生き、共に支えあい、だれもが自分らしく安心して暮らせるまちづくりをめざして「富田林市地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。

この調査は、市民の皆さんの地域に対する思い、日々の生活をする中で抱えている様々な課題、地域活動やボランティア活動の参加状況・利用意向などをお聞きし、計画づくりにあたっての貴重な資料とさせていただくために実施するものです。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成18(2006)年2月

富田林市長 多田 利喜

【ご記入にあたってのお願い】

1. 回答をお願いしている方について

この調査では、市内にお住まいの20歳以上の方の中から無作為に2,000人を選ばせていただき、アンケート調査への回答をお願いすることにしました。

封筒の宛名の方自身（ご本人）がご回答ください。なお、どうしてもご本人による回答が難しい場合は、他の方がご本人のお答えをお聞きの上、代筆していただいても結構です。

2. 回答の仕方について

回答はほとんどが選択式になっています。それぞれの質問にしたがって、あてはまる番号に印を記入してください。なお、選択肢のない質問では、枠の中にあてはまる内容を具体的に記入してください。

回答いただきました調査票は、もう一度、記入漏れや記入ミス等がないか確認していただいた上、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**平成18年2月15日（水）までに郵便ポストに投函してください。**

3. その他

調査結果はすべて統計的に処理します。したがって、回答内容が外部に漏れたり、調査目的以外に使われたりすることは決してありませんので、ありのままをご回答ください。

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

富田林市 保健福祉部 社会援護課 総務係
電話：(0721) 25 - 1000、ファックス：(0721) 23 - 0121

あなたやあなたのご家族のことについてお尋ねします。

問1 あなたの性別は。(どちらかに)

- 1 男 2 女

問2 あなたは、平成18年1月1日現在で満何歳ですか。(1つだけ)

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 1 20～24歳 | 2 25～29歳 | 3 30～34歳 | 4 35～39歳 |
| 5 40～44歳 | 6 45～49歳 | 7 50～54歳 | 8 55～59歳 |
| 9 60～64歳 | 10 65～69歳 | 11 70～74歳 | 12 75歳以上 |

問3 現在、一緒に住んでいるのはどなたですか。あなたからみた続柄でお答えください。
(いくつでも)

配偶者は届出の有無に関係なく、お選びください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 配偶者 |
| 3 子ども(子どもの配偶者も含む。) | 4 父親(配偶者の父親も含む。) |
| 5 母親(配偶者の母親も含む。) | 6 孫 |
| 7 祖父(配偶者の祖父も含む。) | 8 祖母(配偶者の祖母も含む。) |
| 9 兄弟姉妹(配偶者の兄弟姉妹も含む。) | 10 その他(具体的に.....) |

問4 一緒に住んでいるご家族の中に、未成年者はおられますか。(いくつでも)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 就学前の子どもがいる | 2 小学生がいる |
| 3 中学生がいる | 4 高校生年代以上の子どもがいる |
| 5 未成年者はいない | |

問5 一緒に住んでいるご家族の中に、高齢者(65歳以上)はおられますか。
(いくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 高齢者がいる(常時介護が必要な) | 2 高齢者がいる(ときどき介護が必要な) |
| 3 高齢者がいる(介護を必要としない) | 4 高齢者はいない |

問6 一緒に住んでいるご家族(あなたも含めて)の中に、障害のある人(障害児、障害者)はおられますか。(どちらかに)

- 1 いる
2 いない

→問6-1 それは、だれですか。(いくつでも)

- 1 あなた自身 2 あなた以外のご家族(具体的に.....)

問7 あなたの最近の健康状態はいかがですか。(1つだけ)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 健康である | 2 治療の必要はないが、体調はすぐれない |
| 3 治療中の病気があり、通院している | 4 常時、介護を要する状態である |
| 5 その他(具体的に.....) | |

問8 あなたのお住まいは。(1つだけ)

- | | | |
|----------------|------------------|-----------|
| 1 一戸建ての持ち家 | 2 一戸建ての借家 | 3 分譲マンション |
| 4 賃貸マンション・アパート | 5 公営住宅 | 6 社宅、官舎、寮 |
| 7 下宿 | 8 その他(具体的に.....) | |

問9 あなたのご職業は。(1つだけ)

- | | | |
|---------------|-------------------|---------------|
| 1 農業 | 2 自営業 | 3 会社員(役員を含む。) |
| 4 公務員、教員など | 5 団体職員(役員を含む。) | 6 パート・アルバイト |
| 7 派遣社員、契約社員など | 8 学生 | 9 専業主婦 |
| 10 無職 | 11 その他(具体的に.....) | |

お住まいの地域のことについてお尋ねします。

問10 あなたのお住まいのある小学校区は。(1つだけ)

- | | | |
|------------|-------------------------------------|------------|
| 1 喜志西小学校区 | 2 喜志小学校区 | 3 新堂小学校区 |
| 4 富田林小学校区 | 5 川西小学校区 | 6 錦郡小学校区 |
| 7 彼方小学校区 | 8 大伴小学校区 | 9 東条小学校区 |
| 10 高辺台小学校区 | 11 久野喜台小学校区 | 12 寺池台小学校区 |
| 13 伏山台小学校区 | 14 藤沢台小学校区 | 15 小金台小学校区 |
| 16 向陽台小学校区 | 校区がわからない方は、お住まいの町名をお書きください。 [.....] | |

問11 問10の小学校区での居住年数は。(1つだけ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 1年未満 | 2 1～5年 | 3 6～10年 | 4 11～15年 |
| 5 16～20年 | 6 21～25年 | 7 26～30年 | 8 31年以上 |

問12 お住まいの地域に対して、愛着を感じていますか。(1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 たいへん愛着を感じている | 2 少し愛着を感じている |
| 3 あまり愛着を感じていない | 4 まったく愛着を感じていない |
| 5 わからない | |

問13 あなたにとって「自分のまち」とは、どの範囲のことをいいますか。(1つだけ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 自分の家のまわりの地域 | 2 町会・自治会単位の地域 |
| 3 小学校区程度の地域 | 4 中学校区程度の地域 |
| 5 富田林市全域 | 6 もっと広い地域 |
| 7 わからない | |

問14 あなたとご近所の人とは、どの程度の付き合いをしていますか。(1つだけ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 特に用事が無くても行き来し、困ったときには助け合える人がいる |
| 2 家庭の中までは入らないが、よく行き来する程度の人がある |
| 3 顔が合えば、立ち話をする程度の人がある |
| 4 顔が合えば、あいさつする程度の人しかいない |
| 5 隣近所にどんな人が住んでいるのかわからない |
| 6 近所付き合いはしない |
| 7 その他(具体的に.....) |

問15 ご近所の人との付き合いについて、どのように考えていますか。(1つだけ)

- | |
|-------------------------------|
| 1 近所付き合いは積極的にしたほうが良いと考えている |
| 2 自分以外の家族がしているので、特にしようと考えていない |
| 3 隣近所のことは干渉せず、付き合いもほどほどと考えている |
| 4 あまり隣近所とかかわりをもたくなないと考えている |
| 5 近所付き合いそのものが面倒であると考えている |
| 6 特に考えていない |
| 7 その他(具体的に.....) |

地域活動についてお尋ねします。

問16 あなたは、ここ数年の間で、次の(1)～(8)の地域活動にそれぞれどの程度参加していますか。(1)～(8)のそれぞれについて、1つだけ)

1	2	3	4
企画・運営等に中心的に関わっている	企画・運営等には関わっていないが、活動には参加している	活動があることは知っているが、ほとんど参加していない	活動があること自体、知らない

(1) 地域の祭り、盆踊り、地藏盆など	1	2	3	4
(2) 地域の運動会、スポーツ大会など	1	2	3	4
(3) 地域の清掃活動	1	2	3	4
(4) 地域の防犯・交通安全活動	1	2	3	4
(5) 町会・自治会活動	1	2	3	4
(6) 子供会活動、青少年育成活動	1	2	3	4
(7) 老人クラブ活動	1	2	3	4
(8) 女性による地域活動	1	2	3	4

問16の(1)～(8)のいずれかで「1 企画・運営等に中心的に関わっている」又は「2 企画・運営等には関わっていないが、活動には参加している」と回答した人は、次頁の問17へお進みください。それ以外の人は、以下の問16-1をお答えください。

問16-1 問1の(1)～(8)のいずれにも参加していないのは、なぜですか。(いくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 町会・自治会等に入っていないから | 2 仕事や家事・育児などに忙しいから |
| 3 一緒に参加する人がいないから | 4 地域の行事や活動に興味が無いから |
| 5 参加の方法がわからないから | 6 体力的に無理だから |
| 7 人間関係が難しそうだから | 8 家族の協力・理解が得られないから |
| 9 地域でやりたい活動がないから | 10 他の活動に参加しているから |
| 11 この地域に来て、まだ間もないから | 12 いずれの活動も知らなかったから |
| 13 その他(具体的に.....) | |

暮らしの中で感じている生活課題などについてお尋ねします。

問17 この1年間において、何らかの理由で、自分では
 行うこともできずに困ってしまったこと（次に
 あげる(1)～(8)）がありましたか。
 （それぞれについて、どちらかに）

(注) 家族に助けてもらった場合も「あった」に 印を
 付けてください。

「あった」を選んだ人のみ

問17-1 その時、どう対応しましたか。(いくつでも)

1	2	3	4	5	6	7
利公 用の した たサ ービ スを	員民 の生 支委 援員 を・ 受児 け童 た委	支ボ 援ラ を 受テ けイ たア 等の	も近 ら所 つ のた 人に 助け て	っ家 た族 に 助け て もら	6 そ の 他	7 ら誰 つか って ら いも な助 い け て も

～ 記入例 ～

(1) 病気や障害などによって、買い物などに行くことができなかった

1 あった → 2 なかった

1 2 3 4 5 6 7

(1) 病気や障害などによって、買い物などに行くことができなかった

1 あった → 2 なかった

1 2 3 4 5 6 7

(2) 病気や障害などによって、通院することができなかった

1 あった → 2 なかった

1 2 3 4 5 6 7

(3) 相談したいことがあっても、相談する相手がいなかった

1 あった → 2 なかった

1 2 3 4 5 6 7

(4) 食事を作ったり、洗濯・掃除等
 をしたりすることができなかった

1 あった → 2 なかった

1 2 3 4 5 6 7

(5) 急な外出時に、介護や介助など
 を受けることができなかった

1 あった → 2 なかった

1 2 3 4 5 6 7

(6) 急な外出時に、子どもを預ける
 場所がなかった

1 あった → 2 なかった

1 2 3 4 5 6 7

(7) 病気の時、家族が居なくて、
 身の回りのことができなかった

1 あった → 2 なかった

1 2 3 4 5 6 7

(8) 病気や障害などのため、庭の手
 入れや家の修理ができなかった

1 あった → 2 なかった

1 2 3 4 5 6 7

問18 問17の(1)～(8)以外で、この1年間において「あのとき、ボランティアやご近所の人等による支援(手助け)があれば、助かったのに…」と思えるようなことがありましたか。
(いくつでも)

- 1 あった
2 なかった

問18-1 それは、どんなことでしたか。(自由に)

問19 日々の暮らしの中で、不安や悩みを感じていますか。困っていることはありますか。
(いくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 自分の健康のこと | 2 家族の健康のこと |
| 3 自分の老後のこと | 4 家族の老後のこと |
| 5 子育てに関すること | 6 子どもの教育や将来のこと |
| 7 看護や介護のこと | 8 家計や経済的なこと |
| 9 自分の仕事のこと | 10 家族の仕事のこと |
| 11 家族内の人間関係 | 12 地域・隣近所の人間関係 |
| 13 地域の安全(防犯、交通安全等)のこと | 14 災害に関すること |
| 15 人権などに関すること | |
| 16 その他(具体的に.....) | |
| 17 特に悩みや不安は感じていない | |

問20 日々の暮らしの中で、不安や悩みを抱えたとき、どこに相談しますか。(いくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 家族、親族 | 2 友人、知人 |
| 3 職場の上司、同僚など | 4 隣近所の人、町内会・自治会の役員など |
| 5 民生委員・児童委員 | 6 校区・地区福祉委員 |
| 7 市役所 | 8 社会福祉協議会 |
| 9 病院や開業医など | 10 保健所 |
| 11 子ども家庭センター(児童相談所) | 12 各種の社会福祉施設の相談窓口 |
| 13 NPO、ボランティア団体 | |
| 14 その他(具体的に.....) | |
| 15 相談する人がいない | |
| 16 どこにも相談しない | |

(注)

ボランティアとは、報酬を目的とせず、労力、技術、時間を提供して地域社会に貢献する社会的活動を行う者であり、福祉・環境保護・教育・災害等で活躍をしています。

NPOとは、様々な分野で活動を行う民間の非営利団体で、法人格を取得している場合もあります。

問21 日々の暮らしの中で、自分一人ではどうすることもできないことがあって、だれかに支援（手助け）を求めたいときを想定して、次の(1)及び(2)のそれぞれにお答えください。

(1) もしNPOやボランティアから支援を受けられるとしたら、受けたいですか。（1つだけ）

- 1 ぜひ受けたい
- 2 抵抗はあるが、受けたい
- 3 抵抗があるので、受けたくない
- 4 抵抗はないが、受けたくない
- 5 わからない
- 6 その他（ ）

問21(1)-1 どのような抵抗ですか。（1つだけ）

- 1 プライバシーが守られるかわからない
- 2 他人に知られるのが、はずかしい
- 3 支援してくれる人がどんな人かわからない
- 4 その他（ ）

(2) もしご近所の人から支援を受けられるとしたら、受けたいですか。（1つだけ）

- 1 ぜひ受けたい
- 2 抵抗はあるが、受けたい
- 3 抵抗があるので、受けたくない
- 4 抵抗はないが、受けたくない
- 5 わからない
- 6 その他（ ）

問21(2)-1 どのような抵抗ですか。（1つだけ）

- 1 プライバシーが守られるかわからない
- 2 他人に知られるのが、はずかしい
- 3 支援してくれる人がどんな人かわからない
- 4 その他（ ）

ボランティア活動についてお尋ねします。

問22 次にあげる(1)～(3)のような場面に出会った場合、どうしますか。

(1) 遊園地やスーパーマーケットなどで、迷子の子どもを見つけた場合（1つだけ）

- 1 声をかけて、係員の居る所へ連れて行く
- 2 声をかけて、しばらく一緒にいる
- 3 声をかけずに、その場でしばらく見守る
- 4 通り過ぎる

(2) まちで、車いすの人、白い杖を持った人、ベビーカーやバギーを押している人が移動に困っていた場合（1つだけ）

- 1 自分から声をかけて、移動を手伝う
- 2 援助を求められれば、移動を手伝う
- 3 声をかけずに、その場でしばらく見守る
- 4 通り過ぎる

(3) 電車やバスで席に座っているとき、高齢者、障害者等が乗車してきた場合（1つだけ）

- 1 自ら進んで、席を譲る
- 2 他に席を譲る人がいなければ、席を譲る
- 3 その時の気分で判断する
- 4 知らないふりをする

問23 この1年間に、ボランティア活動（NPOやボランティア団体を通じた活動だけでなく、個人的に行った活動も含めてください。）を行いましたか。（1つだけ）

- 1 NPOやボランティア団体を通じて、活動したことがある
- 2 個人的に、活動したことがある
- 3 1年以上前には活動したことがあるが、この1年間ではしていない
- 4 これまでボランティア活動をしたことがない

問24へお進みください。

→問23-1 それは、どのような内容のボランティア活動ですか。（いくつでも）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 高齢者支援に関する活動 | 2 障害者支援に関する活動 |
| 3 子育て支援に関する活動 | 4 健康づくり・医療に関する活動 |
| 5 地域の清掃・美化に関する活動 | 6 まちの活性化に関する活動 |
| 7 防犯・交通安全に関する活動 | 8 消防・防災・災害支援に関する活動 |
| 9 自然環境の保護に関する活動 | 10 公害防止・リサイクルに関する活動 |
| 11 生涯学習の指導・援助等に関する活動 | 12 各種スポーツ指導等に関する活動 |
| 13 青少年育成・支援に関する活動 | 14 芸術・文化振興等に関する活動 |
| 15 国際交流・国際協力に関する活動 | 16 消費者問題に関する活動 |
| 17 人権・男女共同参画に関する活動 | 18 平和の推進に関する活動 |
| 19 その他（具体的に.....） | |

→問23-2 ボランティア活動を行っていた理由として、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ）

- 1 活動自体が楽しく、興味のある内容だから
- 2 活動に参加すると、自分や自分の家族に有利になるから
- 3 活動を通じて人間関係が広がり、自分の成長につながるから
- 4 地域のために役立ちたいから
- 5 付き合いで仕方ないから
- 6 なんとなく
- 7 その他（具体的に.....）

問24 あなたは、今後、ボランティア活動を行ってみたいですか。（1つだけ）

- 1 組織に入って、活動に参加したい
- 2 特に組織には入らず、ボランティア登録をしておいて、求められたときに活動したい
- 3 組織に入ったりとかボランティア登録をしたりとかはせず、できるときに活動したい
- 4 ボランティア活動はしたくない
- 5 わからない

問25 次にあげるような「住民の支え合い・助け合いの活動」の中で、「これなら、やってみたい」、「これなら、できる」というものはありますか。(いくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1 食事の支度、後片づけ | 2 洗濯、掃除、片づけ |
| 3 簡単な繕いもの | 4 簡単な庭の手入れ |
| 5 簡単な家の修理(日曜大工) | 6 ふとん干し |
| 7 ごみ出し | 8 留守番 |
| 9 買い物、お使いの代行 | 10 外出時の送迎 |
| 11 通院の付き添い | 12 散歩の付き添い |
| 13 短時間での子どもの預かり | 14 登下校時の子どもの見守り |
| 15 ペットの散歩 | 16 安否確認等の声かけ |
| 17 話し相手、心配事の相談相手 | 18 代筆・朗読 |
| 19 食事の介助 | 20 排泄の介助 |
| 21 入浴介助の補助 | 22 身体の清拭(体の汚れなどを拭き取ること) |
| 23 衣類の着替えの介助 | 24 健康づくりに対する支援 |
| 25 その他(具体的に.....) | |
| 26 特にない | |

問26 富田林市では、子育てを“援助してほしい”、“応援したい”という人がそれぞれ会員となり、地域で会員相互が援助し合えるよう支援する事業(富田林市ファミリー・サポート・センター)を行っています。

子育て以外にも、このように、支援(手助け)を受けたい人と、支援(手助け)をしたい人をつなぐ仕組み(システム)があれば、利用したいですか。(1つだけ)

- 1 支援(手助け)を受けたいときも、支援(手助け)をしたいときも利用したい
- 2 支援(手助け)を受けたいときには利用したい
- 3 支援(手助け)をしたいときには利用したい
- 4 利用したくない

福祉サービスについてお尋ねします。

問27 行政、福祉施設、NPO・ボランティア団体等が行っている福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。(いくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 家族、親族 | 2 友人、知人 |
| 3 隣近所の人、町内会・自治会の役員など | 4 民生委員・児童委員 |
| 5 校区・地区福祉委員 | 6 市役所の窓口(窓口のチラシも) |
| 7 市の広報誌「広報とんだばやし」 | 8 社会福祉協議会の窓口(窓口のチラシも) |
| 9 社会福祉協議会の「社協だより」 | 10 各種の社会福祉施設 |
| 11 町会・自治会の回覧板 | 12 まちかどの掲示板など |
| 13 新聞、雑誌、書籍など | 14 テレビ、ラジオ |
| 15 市のインターネットホームページ | 16 インターネット(市のホームページ以外) |
| 17 その他(具体的に.....) | |
| 18 どこからも入手していない | |

問28 福祉サービスに関する情報を、内容的にみて、どの程度入手できていると思われますか。
(1つだけ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 十分に入手できていると思う | 2 ある程度は入手できていると思う |
| 3 あまり入手できていないと思う | 4 ほとんど入手できていないと思う |
| 5 わからない | |

問29 「社会福祉協議会」(社協)について、どの程度知っていますか。(1つだけ)

- 1 名前も知っているし、活動内容もだいたい知っている
- 2 名前は聞いたことがあるが、活動内容はほとんど知らない
- 3 富田林市に社会福祉協議会(社協)があることも知らなかった

問30 「社会福祉協議会」(社協)はどんな組織だと思いますか。(1つだけ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 市役所(行政機関)の一部の組織 | 2 市役所の外郭団体 |
| 3 民間の社会福祉法人 | 4 住民によって組織されたNPO法人 |
| 5 その他(.....) | |
| 6 よくわからない | |

問31 あなたの住んでいる地域を担当している「民生委員・児童委員」について、どの程度知っていますか。(1つだけ)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 顔も名前も知っている | 2 顔はわからないが、名前は知っている |
| 3 だれが担当なのかわからない | 4 民生委員・児童委員の制度を知らない |

問32 あなたの住んでいる地域の「校区・地区福祉委員会」について、どの程度知っていますか。
(1つだけ)

- 1 活動内容も福祉委員の名前もだいたい知っている
- 2 活動内容も福祉委員の名前も少しは知っている
- 3 校区・地区福祉委員会という名称は聞いたことがあるが、活動内容等は知らない
- 4 校区・地区福祉委員会があることも知らなかった
- 5 校区・地区福祉委員会はない

問33 富田林市で、“共に生き・共に支え合い・だれもが自分らしく安心して暮らせるまちづくり”を進めるためには、どのようなことが重要であると思いますか。(いくつでも)

- 1 地域における福祉活動の意義と重要性をPRする
- 2 地域における福祉活動の活動費、運営費などの資金的な援助を行う
- 3 各地域に、気軽に相談に行ったり、多様な住民が交流したりできる拠点をつくる。
- 4 地域でボランティアなどの活動拠点となる場を整備する
- 5 住民の中から、地域福祉活動のリーダーやコーディネーターを養成する
- 6 行政職員や社会福祉協議会職員の中に地域福祉活動の専門職員を充実する
- 7 介護やボランティア活動の方法等に関する研修を行う
- 8 学校や生涯学習の場での福祉教育を充実する
- 9 支援(手助け)を受けたい人としていたい人をつなぐシステム(橋渡し機能)をつくる
- 10 支援(手助け)を受けたい人の情報などを共有できるシステムをつくる
- 11 安心して支援を受けられるよう、支援する人の身分証明、個人情報管理の徹底等を図る
- 12 その他(具体的に.....)
- 13 特にない

最後に、“共に生き・共に支え合い・だれもが自分らしく安心して暮らせるまちづくり”についてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

共に生き、共に支え合う福祉のまちをめざして

- 関係団体アンケート調査へのご協力のお願い -

市民の皆さまには、日頃より市政に対してご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、富田林市では現在、共に生き、共に支えあい、だれもが自分らしく安心して暮らせるまちづくりをめざして「富田林市地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。

この調査は、地域福祉に関係する団体の方から、各団体の概要、活動状況、活動を通じて得られた富田林市民の生活課題や地域課題、富田林市の地域福祉を推進するための意見や要望などをお聞きし、計画づくりにあたっての貴重な資料とさせていただくために実施するものです。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成18(2006)年5月

富田林市長 多田 利喜

【ご記入にあたってのお願い】

1. 回答をお願いしている団体について

この調査では、富田林市内において地域福祉活動を行っている団体に、アンケート調査票を郵送し、回答をお願いすることにしました。

回答は、団体の代表者又は団体としての意見をご記入いただける方をお願いします。

2. 回答の仕方について

回答はほとんどが選択式になっています。それぞれの質問にしたがって、あてはまる番号に 印を記入してください。なお、選択肢のない質問では、枠の中にあてはまる内容を具体的に記入してください。

回答いただきました調査票は、もう一度、記入漏れや記入ミス等がないか確認していただいた上、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**平成18年6月9日（金）までに**郵便ポストに投函してください。

3. その他

調査結果はすべて統計的に処理します。したがって、回答内容が外部に漏れたり、調査目的以外に使われたりすることは決してありませんので、ありのままをご回答ください。

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

富田林市 保健福祉部 社会援護課 総務係
電話：(0721) 25 - 1000、ファックス：(0721) 23 - 0121

貴団体の概要についてお尋ねします。

問1 貴団体の概要について、下表に、ご記入ください。

団体名	
設立年月	(昭和、平成) _____ 年 _____ 月 設立
代表者名	
連絡先	(〒 _____ - _____) _____ 電話 (_____) _____ - _____ 、 F A X (_____) _____ - _____ メールアドレス _____
構成員数	総数 _____ 名 (内訳 : 男性 _____ 名、女性 _____ 名)

問2 問1の構成員のうち、実質的に活動しているのは何人ですか。(数字を)

実質的に活動しているのは、約 人

問3 問1の構成員のうち、主に活動している年齢層は。(いくつでも)

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳以上 | 8 まちまち |

問4 貴団体には、専従者(貴団体の活動に専ら従事している人)はいますか。(どちらかに)

- | | |
|-------|----------------------------|
| 1 いる | → 問4-1 専従者は何人ですか。
(数字を) |
| 2 いない | |

専従者は 人

問5 貴団体の主な財源は。(いくつでも)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1 会費 | 2 私財(会費以外の個人負担) |
| 3 住民や事業所等からの寄付金 | 4 事業収入(行政等からの業務委託も含む。) |
| 5 行政からの補助金、助成金等 | 6 行政以外の機関からの助成金等 |
| 7 借入金 | 8 その他(_____) |

問6 貴団体の財政状況は。(1つだけ)

- | | | |
|----------|-------------|----------|
| 1 安定している | 2 どちらともいえない | 3 切迫している |
|----------|-------------|----------|

貴団体の活動についてお尋ねします。

問7 貴団体が活動を行っているエリアは、主にどの範囲内ですか。(1つだけ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 町会・自治会程度のエリア | 2 小学校区程度のエリア |
| 3 中学校区程度のエリア | 4 富田林市内の一部の地域 |
| 5 富田林市内全域 | 6 富田林市と近隣の市町 |
| 7 大阪府内 | 8 近畿圏 |
| 9 国内 | 10 国内と国外 |
| 11 その他 () | |

問8 貴団体では、どれくらいの頻度で活動していますか。(1つだけ)

- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1 週に5～7日 | 2 週に3～4日 | 3 週に1～2日 | 4 月に1～2日 |
| 5 年に数日程度 | 6 その他 () | | |

問9 貴団体では、対人サービスの活動(住民を対象にした援助活動等)を行っていますか。
(どちらかに)

- | | |
|----------|---|
| 1 行っている | → 問9-1 貴団体では、対人サービスの活動をどのようなかたちで行っていますか。(いくつでも) |
| 2 行っていない | |

- | | |
|----------------------|--|
| 1 無償で行っている | |
| 2 交通費などの実費をもらって行っている | |
| 3 一定の報酬をもらって行っている | |
| 4 その他 () | |

問10 貴団体の活動分野は。(いくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 高齢者支援に関する活動 | 2 障害者支援に関する活動 |
| 3 子育て支援に関する活動 | 4 健康づくり・医療に関する活動 |
| 5 地域の清掃・美化に関する活動 | 6 まちの活性化に関する活動 |
| 7 防犯・交通安全に関する活動 | 8 消防・防災・災害支援に関する活動 |
| 9 自然環境の保護に関する活動 | 10 公害防止・リサイクルに関する活動 |
| 11 生涯学習の指導・援助等に関する活動 | 12 各種スポーツ指導等に関する活動 |
| 13 青少年育成・支援に関する活動 | 14 芸術・文化振興等に関する活動 |
| 15 国際交流・国際協力に関する活動 | 16 消費者問題に関する活動 |
| 17 労働や雇用の支援に関する活動 | 18 情報化社会に関する活動 |
| 19 人権に関する活動 | 20 男女共同参画に関する活動 |
| 21 平和の推進に関する活動 | 22 その他 () |

問11 貴団体における具体的な活動内容は。(いくつでも)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1 相談活動 | 2 助け合い(相互扶助)活動 |
| 3 調査研究活動、学習活動 | 4 啓発活動、人材育成活動 |
| 5 親睦・交流活動 | 6 マッチング活動、コーディネート活動 |
| 7 行政等への要望・提案活動 | 8 生産・販売活動 |
| 9 その他() | |

貴団体の活動内容の詳細についてお書きください。

なお、ご記入いただく代わりに、活動内容等がわかる資料を添付していただいても結構です。

Blank area for writing the detailed activity content, featuring horizontal dashed lines for text entry.

問12 貴団体では、他の団体や機関等と交流したり、協力して事業を行ったりしたことがありますか。(いくつでも)

1 社会福祉協議会	2 民生委員・児童委員
3 校区・地区福祉委員会	4 町会・自治会
5 老人クラブ	6 婦人会
7 子供会	8 スポーツ少年団
9 保育所、幼稚園	10 小学校、中学校
11 保護者会、PTA	
12 特定非営利活動法人(NPO法人)	
具体的な法人名 []
13 ボランティア団体	
具体的な団体名 []
14 その他 ()
15 交流したり、協力して事業を行ったりしている団体・機関等はない	

他団体との交流や事業協力の具体的な内容をお書きください。

なお、ご記入いただく代わりに、他団体との交流や事業協力の内容等がわかる資料を添付していただいても結構です。

問13 貴団体が活動を行なう中で、日頃感じている問題点は何ですか。(いくつでも)

- 1 メンバーが定着しない
- 2 新規メンバーの加入が少ないため、活動に支障が出ている
- 3 メンバーの年齢構成に偏りがあるため、活動に支障が出ている
- 4 メンバーの男女構成に偏りがあるため、活動に支障が出ている
- 5 リーダーが育たない
- 6 メンバー同士の間人間関係がうまくいっていない
- 7 仕事や生活上の都合から、メンバーの活動時間が十分とれない
- 8 行政依存・指示待ちの意識がなかなか抜けない
- 9 活動がマンネリ化している
- 10 他のグループや団体と交流する機会が乏しい
- 11 無償にするか有償にするかの判断、有償の場合の料金水準の設定等が難しい
- 12 所属団体や活動内容等に対する社会的な信用・評価が低い
- 13 市民に情報発信する(活動をPRする)場や機会が乏しい
- 14 支援を必要とする人の情報が得にくい
- 15 支援を必要とする人のニーズにあった活動ができていない
- 16 外部からの問い合わせや相談をいつでも受ける体制(連絡先、専従者)がない
- 17 活動の資金が足りない
- 18 活動に必要な機材が不足している
- 19 活動に必要な情報や専門知識が不足している(適当な相談者がいない)
- 20 活動拠点がない
- 21 会議や活動の場所、機材置き場等の確保が難しい
- 22 地域のコミュニティーが希薄化している
- 23 その他 []
- 24 特に困ったことはない

問14 貴団体では、団体の活動をさらに活発化させるためには、どのような支援が必要であるとお考えですか。(いくつでも)

- 1 補助金など資金面での支援
- 2 研修制度など人材面での支援
- 3 活動場所の確保への支援
- 4 助言など専門知識の支援
- 5 他機関との交流会など連携についての支援
- 6 広報活動、ニーズの把握など情報についての支援
- 7 その他 []
- 8 特に支援は必要ない

富田林市民の抱える生活課題などについてお尋ねします。

問15 貴団体における活動を通じて感じている、富田林市民の抱えている「生活課題」(一人ではどうすることもできずに困っていること、だれかの助けを必要としていること)や「地域が抱える課題」などについて、具体的にあげてください。

Blank area for writing answers, featuring horizontal dashed lines for text entry.

富田林市における地域福祉の推進についてお尋ねします。

問16 富田林中で、地域福祉を推進していくためには、どのようなことが重要であると思いますか。(いくつでも)

- 1 地域における福祉活動の意義と重要性をPRする
- 2 地域における福祉活動の活動費、運営費などの資金的な援助を行う
- 3 各地域に、気軽に相談に行ったり、多様な住民が交流したりできる拠点をつくる
- 4 地域でボランティアなどの活動拠点となる場を整備する
- 5 住民の中から、地域福祉活動のリーダーやコーディネーターを養成する
- 6 行政職員や社会福祉協議会職員の中に地域福祉活動の専門職員を充実する
- 7 介護やボランティア活動の方法等に関する研修を行う
- 8 学校や生涯学習の場での福祉教育を充実する
- 9 支援(手助け)を受けたい人としてたい人をつなぐシステム(橋渡し機能)をつくる
- 10 支援(手助け)を受けたい人の情報などを共有できるシステムをつくる
- 11 安心して支援を受けられるよう、支援する人の身分証明、個人情報管理の徹底等を図る
- 12 その他(具体的に.....)
- 13 特にない

問17 「富田林市地域福祉計画」に関して、ご意見・ご要望等がありましたら、お書きください。

これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

富田林市地域福祉計画

発行年月：平成19(2007)年3月

発行：富田林市 保健福祉部 社会援護課

(〒584-8511) 大阪府富田林市常盤町1番1号

電話(0721)25-1000〔代表〕

<http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/>

E-MAIL:syakaiengo@city.tondabayashi.osaka.jp